

有田川町議会広報
かわら版

平成 23年 2月 発行

第20号

発行 有田川町議会
発行責任者 編集 前勢利夫
住所 郵便番号 643-0021
和歌山県有田郡有田川町
大字下津野2018番地4
電話 0737-52-2111
FAX 0737-52-2198
<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gkaicho.html>



第3回有田川町観光写真コンテスト 入選作品『長峰山脈』
提供：有田川町観光協会 撮影者：岡崎 弘氏

平成22年度補正予算など	2～4
町長にもの申す	5～14
委員会レポート	15
編集後記	16

子宮頸がんなどの
予防接種委託料に

3,451万円

一般会計補正額

4億8,455万円

平成22年 第2回臨時会は、11月29日開催され条例の一部改正、特別養護老人ホーム「しみず園」の指定管理について、新金屋庁舎建設工事の請負契約などの議案を審議し、原案の通り可決されました。

また、平成22年第4回定例会は、12月7日か

ら21日までの日程で開催されました。本定例会に提案された平成22年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例の一部改正などの議案を審議し、すべて原案の通り可決されました。なお9月議会で付託されていた平成21年度決算の議案も認定されました。

◎平成22年度一般会計補正予算

(単位：万円)

項 目	補 正 額	合 計 額	説 明
議 会 費	△90	1億 272	職員手当など
総 務 費	837	17億 4,620	旧恩給組合追加費用など
民 生 費	2,493	35億 8,591	乳幼児医療費、介護保険特別会計繰出金など
衛 生 費	3,869	13億 1,969	予防接種委託料など
農林水産業費	5,362	18億 4,167	経営体育成、鳥獣害防止対策、小川農道新設物件補償費など
商 工 費	46	1億 4,583	職員手当
土 木 費	1,845	9億 5,337	道路・橋梁維持修繕費など
消 防 費	1,396	7億 1,315	消防施設道路整備費など
教 育 費	15	17億 3,417	備品購入費など
災 害 復 旧 費	4,563	1億 7,550	町道糸川本線災害復旧費
諸 支 出 金	2億 8,261	6億 9,887	雇用創出基金など積立金
予 備 費	△143	4,516	
そ の 他	0	28億 7,632	労働費、公債費
歳 出 合 計	4億 8,455	159億 3,856	



その後、必要に応じてこの事業を続けていかなければならないものに充てていきたい。

企業財政課長 推進基金の合計額は3億6362万2千円になる。使い方は決定していない。今実施している緊急雇用の創出事業、ふるさと雇用再生事業などは平成23年度で切れる。

基金費の雇用創出推進基金積立金1億8181万1千円だが、前回と今回積み立てた額で総合計はどうか。またその使い道について、その後の方向性や使い方についての議論はどうか。

平成22年度
一般会計補正予算
質疑 (第6号)

◎特別会計補正予算

(単位：万円)

項目	補正額	合計額	説明
国民健康保険事業	1,045	37億 1,282	レセプト審査経費負担金など
後期高齢者医療	4,335	7億 3,045	広域連合過年度分返還金など
介護保険事業	6,796	24億 7,705	介護サービス負担金など
簡易水道事業	200	7億 6,520	町道の改良に伴う布設替え
公共下水道事業	69	12億 8,249	職員手当
農業集落排水事業	△17	3億 2,141	職員手当
かなや明恵峡温泉	682	1億 2,460	マッサージ業務委託料など
その他特別会計	0	2,043	老人保健事業ほか8事業会計
歳出合計	1億 3,110	94億 3,445	

国保特別会計
補正予算質疑

レセプト審査支払システムの最適化経費負担金を計上している。電算化の事業だが、これにより情報がもれないか心配する。管理はしっかり行われるのか。

電算化するにあたって各地域の病院や総合病院も同じように対応していかなければならない。医療機関が十分整っていない状況の中で進められるのか。

住民課長 平成23年5月からの実施予定。ネットワークが専用回線で結ばれ情報も暗号化されるので特に問題はないと考えている。

病院や医院はデータをパソコンに入力し、電子化されたデータで国保連合会に通知する。電子化に対応できない医療機関

などは今までどおりのやり方(紙ベースによるレセプトを連合会へ送付して)で処理される。

一般会計補正予算
質疑 (第7号)

町道糸川本線の災害工事をする現場で民有地との境あたりに配管があり、そこから水が流れている。この配管と民有地との境に水が流れている関係上、災害復旧工事をしたところがその影響によってまた崩れたりしないか。

建設課長 町道と農地の境界にあたる場所に排水溝がある。これについては河川へ流せるよう、パイプを布設して崩壊地には影響がないようにしていきたい。

条例の一部改正

◎携帯電話エリア整備事業
業基地局施設条例

◎国民健康保険税条例

◎手数料徴収条例

◎県営土地改良事業分担

金徴収条例

◎火災予防条例

その他の議案

◎有田周辺広域圏事務組合規約の改正に関する協議

◎町道の認定（修理川地内から宇井苔地内）

◎教育委員会委員の任命

平松一彦氏

◎城山山林財産区管理会

管理委員の選任

東平造氏

◎八幡山林財産区管理会

管理委員の選任

保田英夫氏

◎人権擁護委員候補者の推薦

鈴木眞佐子氏

松本博光氏

意見書の提出

◎T P P交渉に関する意見書の提出

内閣総理大臣、経済産業大臣などへ提出

平成21年度決算が認定

平成21年度の決算額は一般・特別会計併せて歳入総額264億5130万円。歳出総額258億6440万円。実質収支額は4億159万2千円の黒字になりました。自治体に表示されている「財政指標」に基づいた分析結果は、実質収支比率3.15%（35%以内が目安）。經常収支比率は90.2%（70%以下が目安）実質公債費比率16.2%（3カ年平均、18%以上になると起債の許可が必要）財政力指数は0.352%（指数が高いほど町の財政にゆとりがある）。

以上の主な指標



有田インター連絡道と高速道路

数値からみて財政健全化判断比率をクリアしているものの財政力指数は極めて厳しい状況にあると決算審査特別委員会でも指摘されたが、全議案が承認された。財政構造の改善に町執行部、議会が一体となつて取り組むことの責務を痛感している。

決算の中から主な（建設、産業、学校教育）事業を掲載

（万円未満四捨五入）

産業課関係

ふれあいの丘スポーツパーク改修事業費 995万円

しみず温泉健康館改修事業費 1109万円

栗林地区ふるさと体験施設整備事業費 4295万円

観光客誘致促進事業費 1471万円

ふれあい館改修事業費 2193万円

かなや明恵峡温泉改修事業費 5714万円

中山間地域直接支払制度交付金 2億741万円

建設課関係

町道吉備インター連絡線新設工事費 1億1466万円

道路新設改良費 5億848万円

町道新設改良費

学校教育課関係

小中学校図書室設備充実事業費 1876万円

石垣・小川小学校空調設備工事費 5338万円

御霊小学校プール改築工事費 1億3701万円



御霊小学校プール

小規模土地改良事業費 2151万円

黒松地区基盤整備促進事業費 6821万円

林道維持改良費 1341万円

町道維持改修工事費 1億7888万円

（古備30件、金障17件、清水27件）

御霊小学校プール改築工事費 1億3701万円

町長にももの申す 一般質問

9議員が登壇しました



中山 町長



福原 産業課長



東 建設課長



橋本 教育長



大方 福祉課長



武内 企画財政課長



保田 清水行政局長

質問番号	質問議員氏名	質問事項	質問番号	質問議員氏名	質問事項
1	西 弘 義	1. 湯浅分水の水道料金の引き上げを 2. もえるゴミの入れは早期に	5	堀 江 眞智子	1. 保育所入所希望者には全員入所を
2	岡 省 吾	1. 資源ゴミの入れのあり方は 2. 鳥獣害対策を手厚く 3. 特別養護老人ホーム「しみず園」の指定管理のあり方を質す	6	新 家 弘	1. 吉田バイパスの工事の進捗状況は 2. 吉備中学校の総合整備は
3	佐々木 裕 哲	1. わが町の企業誘致計画は 2. ふるさと納税制度の積極的な取り組みを 3. 抜本的な鳥獣害対策を	7	境 谷 憲	1. 平成23年度予算編成にあたり要求の実現を 2. 有害対策の充実を 3. 平成23年度卒業見込み有田3高校の就職支援の充実を
4	殿 井 晃	1. 指定管理の清水木材加工場の運営は 2. 社会福祉法人「昭仁会 双苑」と「しみず園」の協定書の内容はどうか 3. 各区からの要望に対して町の対応はどうか	8	亀 井 次 男	1. 町施設、文化財を観光行政に
			9	桶 部 重 計	1. 観光施設巡回無料バスの運行の充実を 2. 平成23年度保育所への入所申し込み状況はどうか

有田川町最後のゴミ収集入札は



西 弘 義

湯浅分水は 水道水の原価で

【質問】 平成24年4月に湯浅分水の料金改定が行われる予定だが、この契約は10年前の旧吉備町時代に決められた料金である。そこで以下の点で問う。

現在町内の1m当たり水道原価はいくらか。

町長 平成10年度が一番高かったが、平成21年度では約116円かかっている。

【質問】 湯浅町へはいくらで分水しているのか。また湯浅町の水道料金はいくらか。

町長 湯浅町へは約94円で分水し、水道料金は116円だと聞いている。



【質問】 有田川町では1m当たりいくらになっているのか。

町長 有田川町の水道料金は1m当たり147円である。

【質問】 原価が約116円で、湯浅町へは約94円で分水している。有田川町の水道料金は147円で、湯浅町の水道料金が116円という。この点をみれば、町民感情からしても湯浅町への分水料金を水道水原価まで引き上げるべきでないか。また契約期間も長すぎるのではないか。

町長 原価を割ることはできないので平成24年度の改定時には水道水原価まで上げたい。契約期間の10年は長すぎるので湯浅町長にも話をしたい。

【質問】 町内の水道に目を向けると旧吉備町の美しく美味しい水を旧金屋町への配水も考えなければ

ならないと思うが、町長はどのように考えているのか。

町長 いろいろな問題もあるが、旧吉備町の美味しい水を旧金屋町の町民にも提供できるように検討していく。

ならぬと思うが、町長はどのように考えているのか。

もえるゴミ収集 の入札は早急に

【質問】 資源ゴミ収集などの入札は早々に対応をしたが、もえるゴミの入札が遅れている訳でもあるのか。この問題は平成21年度の住民福祉常任委員会でも取り上げられたことでもあるが、すでに平成22年12月となっている。いまだに入札の方向が見えないがいつになれば入札するのか。

町長 もえるゴミの収集業者がなかった頃からの事情もあり、今まで随意契約をしてきた。平成23年度には清水地区で契約が終了するので、これに合わせて平成23年度に入札をしたい。

町長 平成24年4月1日より、移行をすることもありますが、収集に慣れてもらう時間も必要だと思う。その点で期間を十分とってスムーズに移行できるように進めたい。

もえるゴミの中には生ゴミも入っている。他のゴミとは違い、収集に慣れる時間も必要。早急に対応をしなければなら

ないが、町長はどのように考えているのか。

ないが、町長はどのように考えているのか。



ゴミ収集車



地域社会が充実したものとなるように

岡 省 吾

適切な資源ゴミの入札へと

質問 前回の資源ゴミの入札では、吉備コースで和歌山市の業者が△12万円、金屋コースで地元業者が1円という破格の金額で落札され大きな反響を呼んだ。その背景には当時の資源高騰の社会情勢、当町におけるゴミ分別の徹底などが大きな要因であったと推察される。しかし、景気の低迷による資源売却価格の大幅な変動で業者の経営が窮地に陥っていると聞く。平成23年度初旬に予定されている入札では、詳細な設計金額を積み上げ、適切な価格で入札されるのが望ましいと考えるが、**町長** 資源ゴミの売却単価は、日々変動している。市場価格を加味して設計するが、この入札は資源ゴミの処理業務提供なの

で最低制限価格を設ける考えはない。

質問 売却価格の変動が激しいこの種の入札で、3年間の長期契約は妥当か。**町長** ゴミ処理の委託先も態勢を整えるため、さまざまな準備に要する時間も必要であり、単年度の期間は短いと考える。前回と同様、3年間の委託期間としたい。

鳥獣害対策への手厚い対応を

質問 町内至るところで有害鳥獣の被害を防ぐため、中山間事業などを活用して防護柵や電気柵を設置し、自衛対策を講じられているが、個体数を減らさないと被害を食い止められないのが現状だ。イノシシの捕獲オリ購入として町からも補助を。**町長** 年々、鳥獣被害が増加しており、一定額以上のオリについて、補助

を前向きに検討したい。

質問 狩猟免許の取得、更新講習会を有田郡内で開催できるよう働きかけられたい。

町長 現在、狩猟免許の取得、更新については県下3カ所を実施。開催地を増やし、有田地方でも行うよう要望したい。

なお、更新の講習会は、平成23年度から有田振興局でも実施する予定と聞いている。

特養老人ホーム「しみず園」の指定管理のあり方は

質問 11月29日の臨時議会において、特養老人ホーム「しみず園」の指定管理者が決まった。平成23年度から新たな社会福祉法人に業務が引き継がれることになるが、契約満了のたびに管理者が代わるとなると、職員さんや入所者の方々も安心で

きない。介護施設の重要な拠点である「しみず園」の指定管理のあり方は、特に継続性が求められる。そこで、将来的な展望として、町との関係が深く信頼ある社会福祉協議会に介護施設のノウハウを研究していただき、運営に参画いただけるような働きかけができないか。

町長 私も職員さんや入所者みなさんの安心・安全を考えた場合、短期的な指定管理者制度は望ましくないと思っっている。社協への働きかけについては、規約の変更や理事会の意見を賜らなければならぬが、今後の検討課題としたい。



特別養護老人ホーム「しみず園」

わが町の雇用対策を問う



佐々木 裕 哲

企業誘致計画は

【質問】 県の人口は100万人の大打を割り込んだ。わが町も合併後1000人も減少した。また法人、個人先も約120の納税事業者が減少した。学校を卒業しても地元で働く場がない、吉備地区へ誘致している企業の地元雇用の数が少なくなっている。行政としてもこれらの企業に働きかけるべきでないか。町の入札にすることもできるだけ地元企業で、また消えて



ふるさと有田川町（田口区より撮影）



企業団地（熊井地区）

いく地元個人商店対策も聞きたい。

町長 働く場をつくるために企業誘致は大事だ。景気の動向を見て取り組んでいきたい。道路や下水道を整備すれば人口が増え企業も来てくれる。町内への進出企業に対しては地元雇用を働きかけていく。地元個人商店への対策は商工会とも相談しながら応援していく。

ふるさと納税制度の積極的な取り組みを

【質問】 わが町で生まれ育って卒業しても就職できないから町外へ出て行く。

しかし、誰しも自分のふるさとと親が住む町への思いは強い。寄付によりふるさとを応援したい。これがこの制度だ。いろいろな特典もあり、もっと積極的に広報すべきではないか。

町長 町の広報に載せ、みなさんに協力してもらう体制づくりをする。

清水行政局長 1万円以上の寄付者に5千円相当のお礼の町特産品をお送りしている。

企画財政課長 自然と共生し快速に暮らせる町づくりなど7事業に対して使える寄付金は基金として積み立てしている。

抜本的な鳥獣対策を

【質問】 鳥獣害の中でもサル、イノシシの被害はひどい。今の対策では抜本的な解決にならない。鳥獣愛護も大事だが数の問題だ。動物は移動する。

町単位では限りがある。わが町でも年間3千万円の被害、今年もすでにサル154匹、イノシシ622頭など、昨年比に倍増している。具体的な対策を聞きたい。

町長 この問題は、この議会でも取り上げられている。被害が急増し防渡権の申請も昨年の3倍になっている。今後の対策として近隣市町と連携して「巻狩」などやりたい。また、町としての対策は可能な限り予算措置をしていきたい。



イノシシのヌタ場（奥区のみかん畑）



地元でできることは 地元で使用できるように!!

殿 井 堯

町指定管理の清水 木材加工センター の運営は

【質問】 木材加工センターは地元林業の活性化のため、町内の施設に地元木材を優先利用する目的で始めた施設である。どの位の割合で地元木材を使用できているのか。

具体的には、第三保育所建築に係る木材。また清水材の利用状況と今後、公共建築物に利用するために部材の確保は十分できているのか。

町長 旧清水町内の利用促進と加工による付加価値により地域活性化への思いから整備され、その運営を森林組合にお願いし今日に至っている。

町発注の工事は、地元材を優先利用し、今春完成した金屋第三保育所には清水材など地元木材が多く使われた。使用木材により地元材

では対応できないケースもあるが、有田川町の木材協会にも協力していただき、可能な限り対応していきたい。

今後の計画として、吉備中学校内装工事、武道館、あさぎり周辺整備工事も地元木材を優先利用していく。



清水木材利用促進加工施設

特養「しみず園」と「昭仁会双苑」との協定書は

【質問】 「一恵会」の撤退により、町は新しく「昭仁会双苑」に管理経営を委託することになったが、協定書の内容はどのような

になっているのか。先に議会で議案だけが通り、協定内容については不明になっている。今後は先に協定内容を検討してから議会に提案されるべきではないのか。

町長 募集要項にもあるが、議会で議決されたから協定書を結ぶことになっている。これから町と「昭仁会双苑」との協定書を交わすことになるが、住民福祉委員会に報告したい。

福祉課長 社会福祉法人・非営利法人でも適正な利益がなければ充分なサービスの提供と事業の展開ができない。協定を結ぶにあたってはこのようなことも配慮し協議したい。

有田川町の各区が 5の要望に対して 町の対応の仕方は

【質問】 有田川町の各区、旧吉備町37区、旧金屋町44区、旧清水町26区、合

計107区から出される要望について各課はどのような対応をされているのか。

町長 各区より出された要望を一つずつ検討し、予算を割り当てている。限られた予算なので、毎日の生活や安全性を確保すべき要望はできる限り応えられるよう予算を確保したい。旧3町の面積や地区数は異なるが、おむね3等分の予算割り当てをしている。各区1〜2カ所程度の工事を行っている。

建設課長 町道に対する要望は700件ほどで、平成22年度の維持補修工事予算は8500万円。そのうち旧清水町に2650万円、旧吉備・旧金屋にそれぞれ2925万円の予算を割り当て、各区において要望順、緊急性を要する順に予算をつけている。

「子育てしやすい町」有田川町を



堀江 眞智子

希望する子は すべて保育所に

【問】 保育を希望する子どもはすべて受け入れられること。「貧困と格差」が広がるもとで働きやすい環境をつくり出すことは、子育てしやすい町「有田川町」の姿である。町長は、保育の必要性をどのように考えているのか。

【答】 今まで有田川町が取り組んできた理念に立ち返り、保育を希望する子どもが全員保育所に入れるようにしたい。

【町長】 平成23年度の申込状況は、2歳児で吉備地区15名増、金屋地区1く2歳児で10名増となっている。個別面談を行っているが、保育が必要な家庭については、できるだけ待機児童が出ないように、保育士を増やし対応していく。保育の必要性



藤並保育所

については、保護者が働いているなど、なんらかの理由により保育に欠け

る児童を預かり、保護者の代わりに保育することを目的とする施設である。最近では女性の社会進出やひとり親家庭が増えている状況である。少子高齢化対策の一環として、子育て支援策が重要視されている中で、特に保育所の必要性は重要であると考えている。

【問】 申込提出時の点数表に「今年から申込多数の場合は（別紙）点数表にて一次判定を行う。次に二次判定として、保護者と面談をして入所判定をするので、もし希望者多数の場合は後日連絡をする」と書かれていることが問題だ。あるお母さんは「面接がいつあるかわからない。次の仕事を見つけておきたいのに不安だ」との声を口にされていた。また点数表そのものについても有田川町条例の保育に関する条例の中に妊娠・出産・疾病

などその条件だけで保育する理由となっていないが、労働時間などとも合計点の中には入っているのはおかしいのではないかと。

項目	基準	点数
家庭内労働者 (実務の労働時間) (自宅外労働を除く)	月20日以上、187時間以上	4
	月16日以上、187時間以上	3
	月20日以上、187時間以上	2
	月16日以上、187時間以上	1
家庭内労働者 (副業) (定業規模、専業主業の規模をとりかどうかで区分) (内職は協力者)	月20日以上、187時間以上	4
	月16日以上、187時間以上	3
	月20日以上、187時間以上	2
	月16日以上、187時間以上	1

保育所入所選考基準点数表 (別紙)

【町長】 指摘されたことは十分理解できる。できるだけ待機児童の出ないように3名くらい保育士を増やす予定にしている。子どもが増えるのは、非常に嬉しいことである。保育が必要な子どもは、全員保育できるように対応する。



吉田バイパス工事の進捗状況と 吉備中学校の総合整備はどうか

新 家 弘

吉田バイパス工事 の進捗状況と今後 の見通しは

質問 この工事は、事業主体が和歌山県建設部道路課であり、2010年10月、国道424号から対岸の寿楽園側に素晴らしい橋ができ、付近の整備も進み、地元住民も大変喜んでいて、工事の進捗状況と今後の見通しはどうか。

町長 新吉田橋から吉田区民館先までの800m間は22年度に完成予定。その先の450m間は、用地買収は完了しているが、山が急峻で軟弱な地盤のため設計変更があった。元の設計では山をものすこく切らなくてはいけないので、勾配を少し上げる。23年度から山切り工事にかかり、終点付近の橋梁1カ所が完成すれば全線開通となり、工



2010年10月に完成した新吉田橋

事の完成は26年度の予定だと聞いている。

寿楽園の入り口までは平成22年度中に開通し、青田地区内の狭い道路の拡幅は、26年度までにはできると聞いている。

吉備中学校の総合整備

質問 吉備中の総合整備計画は現在、どのように進められているのか。

教育長 吉備中は耐震性が低く老朽化も進んでいる。早急な整備が必要であるため、全面改築に向け現在、配置計画を行い、詳細設計に入っている。

校舎棟、武道場は平成23年度中に着手し、平成24年度に完成を目指す。体育館は、平成24年度に着手の予定。校舎改築にあわせてグラウンド整備、外周道路の整備を行う。

質問 中学校周辺の雨水対策は、どのように考えているのか。地元の方々が非常に心配をしているので、早急に地元説明会をしていただきたい。

教育長 学校敷地内に雨水貯留浸透施設を整備し、周辺への雨水流出量の低減、抑制を図る計画である。貯留した雨水はグラウンドへの散水に利用する。地元説明会は、実施設計完了後に行う。

質問 当地の経済活性化に結びつけるため、地元でできることは地元関係者が受託できるようにと考えるが、見解を問う。

教育長 町内業者への発注及び育成について可能

な限り配慮を進める。

質問 木材利用促進法に基づき、地元産の木材を使用すべく格段の努力を、**教育長** 教育環境上の観点から、木材を活用した学校施設づくりに取り組み、吉備中の改築にも木材の利用促進に取り組み、**質問** また、同法の「地方公共団体としての責務」についての認識は。

町長 合併時に定めた木材の利用推進に関する指針がある。今後、国に準じて県方針が作成されて、町の指針も国、県に即したものに改め、木材の利用が促進されるように対応したい。



現在の吉備中学校とその周辺

23年度予算に町民の要望を盛り込まれたい



増 谷 憲

**平成23年度予算に
この一年要求してきた
課題の予算化を**

【質問】 湯浅町のように、子ども医療費無料化を中学校3年生まで求める。

町長 1年間の実績をみて今後検討していきたい。

【質問】 国保税1万円の引き下げと一部負担金の制度化、基準は生活保護基準を上回るよう求める。

町長 平成22年度の国保会計の状況などをみながら考えたい。一部負担金は生活保護基準（国の基準）に準じて平成22年12月から実施する。

【質問】 成人用肺炎球菌ワクチンを70歳到達者に実施されたい。

町長 県下の状況をみて鋭意検討したい。

【質問】 町道維持修繕費は平成20年度で要望件数に對しての改修率は17%。予算増を求める。

**狩猟免許取得への補助
や墓地への有害対策を**

町長 要望に応えられるようにしたい。

【質問】 狩猟免許等の費用、飯に清水地区の初心者が銃の免許を申請すると4万1000円。その他の諸費用入れて合計7万円。またワナの経験者が免許を取得する金屋地区の方は2万2100円と、その他の諸費用で3万円を超える。経費への補助をされたい。

町長 ワナ免許の取得に補助があるが、銃の免許取得にはない。町単独の補助は今後の検討課題としたい。

【質問】 県への働きかけを求める。

町長 県と相談して取り組んでいきたい。

【質問】 山間部の墓地では墓が倒されるなどの被害が出ている。支援策は、

**3 高校への就職支援の
取り組みを**

町長 町内に（宗教法人でない）みなし墓地が1200カ所ある。担当窓口を決め要望に応えたい。

【質問】 企業へ雇用の働きかけはどうか。

町長 引き続き雇用の確保を求めている。

【質問】 町として雇用の支援策はどうか。

町長 雇用を生む事業を推進したい。

【質問】 就職支援教員と連携して就職支援を求める。

町長 箕島高校に就職支援教員を配置。有田中央高校に就職支援専門員を配置。就職相談などにあたっては、今後必要があれば協力したい。

【質問】 国の雇用対策は実績もなく知られていない。制度を紹介し、企業に働きかけを求める。

産業課長 新しい支援策

を十分把握していなかった。

3年以内の既卒者、卒業して3年以内の方を雇用するトライアル雇用奨励金制度が、3年以内の方を正規雇用にむけて3ヶ月の期間で雇用した場合、事業主に月10万円、その後正規雇用になると50万円支払われる。支給実績はない。

短期インターンシップ、原則2週間以内、最長1ヶ月の体験をして仕事に自分にあえば正規雇用に。事業主に1日3400円払う。本人にも1日7千円払う。県内では実績がない。

【質問】 消防職員は年次計画をたてて増やされたい。高卒者から採用することを求める。

町長 平成24年4月に2名増やす計画。今後更に年度計画を立て職員を増やしたい。



文化財を観光資源に

亀井次男



観光施設巡回バス

巡回バス内での 町内紹介を

【町長】 有田川町観光施設巡回バス（巡回バス）の利用状況及び、町内の国指定の重要文化財や輩出された偉人を紹介する取り組みを。

町長 巡回バスの乗車人数は、平成21年12月から平成22年11月まで9041人。4月以降は、1日平均34人増えている。また案内ガイドは、人件費などを考え、募集に至らなかった。文化財を観光資源として町の活性化につながるよう成果をCD

やDVDに編集し、巡回バス内や観光PRにも活用したい。

説明板、標識の設置

【町長】 史跡、名勝などへの説明板や国道、町道に統一した標識を整備し設置すべきだと思うが、町長の考えは。

町長 有田川町は、遺跡や文化財の宝庫であり、現在、国指定が23件、県指定が25件、町指定が151件ある。説明板の設置率は44%である。説明板は今後順次増やしていく予定である。

また標識については、統一すれば大変わかりやすいので、建設課、産業課、教育委員会で協議し、速やかに対応できるように検討する。

町施設の 利用と 取り組みは

【町長】 巡回バスが停まる

町施設の利用状況や取り組みはどうか。

町長 藤並駅の乗車人数は、平成22年4月から10月の平均で1日当たり1405人で前年比104.5%と増加（県平均が前年比98%・増加率は県内トップ）し、うち特急利用者（1日当たり平均445人（前年比106%）と伸びている。

駐車場の利用台数は、平成22年4月から11月の累計で7702台（1時間以内の無料駐車は3475台）で料金収入は207万1400円となっている。

駐輪場は、1日平均、自転車約340台、単車で約100台程度の利用がある。

アレックの利用者は、累計で約18万人（月約1万人）の方が利用され、普段の利用のほか、月1回以上のイベントを行い、



鉄道交換館

また博物館機能も持つっており、さまざまな方々に集まっていたいただき、本町のランドマークとして親しまれるよう取り組んでいる。

【企画財政課長】 有田川町鉄道公園は、12月12日時点で、有料入館者は、大人7886人、小人（小学生以上）2458人で、5回以上お越しの方が70人を超え、家族連れの方が大半を占めている。（小学生以下は入館料は無料）

観光振興を通じたまちづくりはできているか



楠 部 重 計

観光施設巡回無料バスの運行は

質問 平成20年3月、新藤並駅舎の完成に伴い、観光用の交通2次手段として、国の不況対策による緊急経済及び雇用対策事業で巡回バス2台を購入。平成21年11月よりしみず温泉方面、かなや明恵映温泉行き無料バスを運行している。

町長 観光振興はまだまだ道半ばである。



観光施設巡回バス（せせらぎ号）



観光施設巡回バス（やまびこ号）

質問 観光資源のPR不足はないか。

町長 ことあることに努めている。

質問 観光客誘致の手段はできているか。

町長 平成25年の棚田サミットをひとつの目標とし、観光客を誘致できる町づくりに取り組んでいきたい。

質問 町民がもっと利用できる運行計画を考えているか。

町長 路線バスではカバーできない観光客の誘致を目的にしている。町民の方々から利用についての要望もある。無料の観

光客送迎ということ、営業の許可はとっていないため一般的な利用は今後も慎重に対処したい。

質問 温泉シルバー証明書の交付は、吉備庁舎でもできるようにしてはどうか。

質問 3年間の運行契約を結んでいるが、利用効果などの協議はされているのか。

産業課長 吉備庁舎でも発行できるようにしたい。

温泉シルバー証明書交付手続きは簡単に

町長 有田鉄道株式会社及び各停車地の方々との検討会、乗車客のアンケート、1年間の利用実績など、今後の運行内容も検討していきたい。

質問 温泉半額利用シルバー証明書の交付手続きはもっと簡単にできないか。

町長 温泉半額利用シルバー証明書の交付手続きは、現時点で約400枚である。毎月平均50人余り増えている。交付の手続きは、できる限り簡単にしたい。

保育所の入所申込みの状況は

質問 平成23年度の町内保育所への入所申し込み状況はどうか。

町長 吉備地区は、2歳児15名増。金屋地区は、1歳から2歳児で10名程度増の状況である。保育士を採用して待機児童が出ないよう対応していく。



金屋第三保育所

産業建設常任委員会 中山間地の活性化と 産業発展の可能性を調査

委員長 森 谷 信 哉

産業建設常任委員会は、10月5日、6日の2日間、にわたり広島県庄原市と岡山県岡山市において視察研修を行いました。

間伐材を利用した新産業

初日は、広島県庄原市で木質バイオマス活用プラントを建設し、間伐材の利用による新産業の創出などに取り組んでいるグリーンケミカル株式会社を視察しました。

ここではプラスチックの原料となるリグニンを生産することに取り組んでおり、工場内を見学し、製造工程などについて説明を受けました。

リグニンは、まず原料



グリーンケミカル（株）で説明を受ける

となる間伐材などを粉砕機にかけてチップ状にし、付着した土などの不純物と余計な油分を除去するため蒸気処理を行い、さらに微粉砕機にかけ木粉化し、それに酵素と水を混合して糖化液をつくり、そこから抽出します。しかし、リグニンの抽出には経費がかかり、コ

スト面で採算に合わないのが、現在はその過程でできた木質パウダーをリグノエースとして製品化し販売しているそうです。

2日目は、岡山市で岡山理科大学などを経営する加計学園を訪れました。こちらでは、海水魚を

山村を漁村に

リグノエースは、プラスチックの増量剤として活用され、石油系樹脂の使用料を抑えたプラスチック製品を製造でき、二酸化炭素の削減に有効とのことでした。資源は、間伐材以外に剪定材でも利用でき、森林資源の有効活用やバイオマスによるCO2対策の観点から今後成長可能な産業で、森林資源が豊富にある当町にとっても十分関心を持てる事業でありました。

学園では現在、数種類の海水魚を飼育しており、好適環境水の水槽内を元気に泳いでいました。ここで飼育している魚は、海水で養殖するよりも成長が早く、また病気にかかるリスクが低いいため安定して生産できるとのことです。今後は大量生産による生存率の検証や成長率の調査、生産能力の検証など、さらに実験を行

淡水で飼育できるという「好適環境水」について視察しました。好適環境水というのは、魚の浸透圧調整に深くかわるカリウムやナトリウムなどの成分と濃度を特定し、わずかな電解質を淡水に加えることで海水魚を飼育することができ、魚が必要とする成分を多く含み、不必要な成分は全くないという、魚にとってはまさしく「好適環境水」でありました。

中山間地域の活性化のためには、新たな産業をおこし、雇用の創出や若者の定住促進の取り組みが必要であります。委員会としては、町や県の関係機関とも連携し、町の産業発展に今後も継続して取り組んでいきたいと思

中山間地域の活性化のためには、新たな産業をおこし、雇用の創出や若者の定住促進の取り組みが必要であります。委員会としては、町や県の関係機関とも連携し、町の産業発展に今後も継続して取り組んでいきたいと思

中山間地域の活性化のためには、新たな産業をおこし、雇用の創出や若者の定住促進の取り組みが必要であります。委員会としては、町や県の関係機関とも連携し、町の産業発展に今後も継続して取り組んでいきたいと思

中山間地域の活性化のためには、新たな産業をおこし、雇用の創出や若者の定住促進の取り組みが必要であります。委員会としては、町や県の関係機関とも連携し、町の産業発展に今後も継続して取り組んでいきたいと思



「好適環境水」の研究施設を視察

中山間地域の活性化のためには、新たな産業をおこし、雇用の創出や若者の定住促進の取り組みが必要であります。委員会としては、町や県の関係機関とも連携し、町の産業発展に今後も継続して取り組んでいきたいと思



第3回有田川町観光写真コンテスト 佳作作品『雪のち晴れ』提供：有田川町観光協会 撮影者：松田美江子氏

傍聴にお越しください

平成23年第1回定例議会は3月2日開会の予定で、一般質問は、3月14日・15日に予定されています。

議会では、みなさんの生活に直結する問題を協議しています。

ぜひ傍聴にお越し下さい。傍聴にお越しの際は、ご来庁費、金庫庁費、清水行政局の各1階のロビーにおいて議会中継を開始していますのでご覧下さい。

**議会広報編集
特別委員会**

◎ 委員長
◎ 副委員長

◎ 殿井 亮
◎ 湊 正剛
増谷 憲
岡 省吾
新家 弘
竹本 和泰

求む!

広報委員会では、議会広報誌「かわら版」の表紙を飾る写真・イラストなど、町民みなさんから募らせていただいております。

有田川町の名所や風景などお気軽にご応募ください。また、地域のサークルや団体を紹介するページも増やしたいと思っております。ご連絡くださいれば取材にお伺いします。

みなさんからのご意見、ご感想もお待ちしています。

編集後記

光陰矢のごとく、平成18年1月に合併して5年の歳月があつたという間に過ぎました。また、有田川町議会広報誌も第20号となり、この間の質問議員は延べ231名に及び、町行政はもとより住民の住みよいまちづくりの日夜、奔走しています。

この5年間に振り返れば、まず学校関係で耐震補強改修や、プールの新設、空調関係、パソコン機器の導入、教育育成の場としてアレック建設やインフラ整備として道路や橋梁、地デジ対策など、福祉の細部にわたるサービスの充実などで進展しています。

「常に流れる水は腐らない」の格言にもありますように、行政は立ち止まることなく、過去の教訓を生かし、現在を見据え次世代に向かって限りなき前進あるのみであります。

(湊 正剛)

お問い合わせ 電話 521-21111
古川庁舎4階 議会事務局まで